

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		多面的機能支払交付金事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040104000861
政策体系		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助	所属課	050101
総合計画の施策名		0401 農林業の振興				主要事業		農林課	
政策名		04 活力ある産業のまちづくり				市長マニフェスト			
施策名		01 農林業の振興				未来PJ事業		グループ 農政G	
手段名		04 農村環境の保全				合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	05	08	00	多面的機能支払交付金事業		
法令根拠		桜川市多面的機能支払交付金要綱				単年度繰返し (年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 平成27年度に農地・水・環境保全向上対策事業から多面的機能支払交付金事業に移した。 農村の生活環境の整備を積極的に推進する。 【事業費の内訳】 補助金 国50% 県25% 市25%	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の手順】 ・事業が円滑に推進し、交付団体が適正に活動するよう指導する。 ・活動内容が年度計画遂行しているか確認する。 ・各申請書及び実績報告書類の確認。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
【担当者が行う業務の手順】 事業が円滑に推進し、交付団体が確実に活動するよう指導する。 活動内容が年度計画遂行しているか確認する。	活動組織	組織	71.00	71.00	65.00	65.00	65.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
事業の計画申請実績報告・活動組織への交付金支払事務・実施状況報告書の事務確認。現地検査・数量検査。茨城県に報告。	農地維持支払実施面積	ha	1,920.50	1,920.50	1,837.70	1,837.70	1,837.70
	資源向上共同 //	ha	1,832.90	1,832.90	1,766.60	1,766.60	1,766.60
	資源向上長寿命化 //	ha	1,781.80	1,781.80	1,665.00	1,665.00	1,665.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
農業者等による活動組織が取り組む、水路の泥上げや地域資源の基礎的保全活動、共同活動を支援し、良好な保全といった地域資源の質的向上を図る。	自然環境を守る行動を行った割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	(地域の美化清掃活動等)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	84,959	81,876	55,824	0
	県支出金	千円	42,479	40,275	27,912	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	43,674	40,274	29,544	0
	事業費計 (A)	千円	171,112	162,425	113,280	0
量	正規職員従事人数	人	3.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)			01年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	1,422		01 報酬	1,503	
09 旅費	24		04 共済費	18		
11 需用費	20		09 旅費	86		
19 負担金補助及び交付金	160,959		11 需用費	25		
			19 負担金補助及び交付金	111,648		
	合計	162,425		合計	113,280	

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	多面的機能支払交付金事業	事務事業No.	40104000861	所属課	農林課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農地の環境保全と地域の活性化につながる開始年度は平成19年度である。地区の水路保全や環境整備事業であり、平成23年度からは向上活動が追加され、平成24年度以降農地水支払交付金事業が採択された。平成26年度から多面的機能支払交付金事業に移行され、桜川市からの補助金事業として実施される。開始年度から5年の期間。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
地域の環境が良くなったこと、農業者と非農家の交流も出来たが、土地を持っていない非農家になぜ草刈り等の手伝いをするのか疑問の声もある。事業の目的の説明が必要である。また農業施設維持管理や長寿命化している施設に対する補修、更新は活発になっている。桜川市土地改良区の区域に属しているため本事業だけで農業用施設の補修、新規更新は出来ない、桜川市土地改良区の長期的な補修計画が必要である。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	活動組織数の増加に伴い、事務手続きの簡素化を図るため、それらを束ねる広域活動組織を設立し、取り組む必要が生じている。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・農地の保全や農業経営の安定化が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・環境保全向上対策事業については公共性が高い。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	・現状維持。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・耕作放棄地の増加と農業施設の管理ができなくなり、農業経営への影響と各種事業が効果的に実施できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	活動組織間で広域協定を推進し、組織の一本化を図る。整備が完了した地区については桜川市土地改良区へ移行する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	・事業実施団体は地区内の組織であり、人件費等すべて交付金である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・市内における農業施設を保持している地区対象であるため公平性を保っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨ ・組織数が71組織になり、事務作業が煩雑かつ膨大になっている。組織への書類作成の際の手順等を十分に周知・指導し、事務作業の効率化を図る。																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
事務作業が煩雑なことから、継続する意志のある組織が減少傾向にある。そのため、説明会や窓口において助言等を行うことで継続する組織数を維持することで、継続的な各地域の農地の保全に繋げる。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下			×																					
(6) 事務事業優先度評価結果																									
成果優先度評価結果		④																							
コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認